

# 令和7年度消防研究センター等の一般公開 (開催報告)

## 消防研究センター

東京都調布市の同じ敷地内に位置する消防研究センター、消防大学校、日本消防検定協会及び一般財団法人消防防災科学センターにおいて、4月に一般公開を開催しました。

この一般公開は、科学技術週間(「発明の日」(4月18日)を含む週)に実施しているもので、今回は、実開催(敷地内の施設の公開や実演等、4月18日(金)に実施)と、令和3年度から行っているオンライン開催(4月11日(金)～4月21日(月))を併せて実施しました。実開催では、436人が来場し、研究官から直接研究内容の説明や、実演の見学がありました。また、ホームページのオンライン開催のページ(実開催の案内を含む)へのアクセス数は、約5,030件となりました。

実開催では31項目を公開し、オンライン開催では87動画を配信しましたが、ここでは実開催における消防研究センター関連項目の一部について紹介します。

なお、消防研究センターホームページには、一般公開で配信した動画の一部や研究開発等に関する様々な動画を掲載していますので、是非ご覧ください。

(URL : [https://nrifd.fdma.go.jp/public\\_info/library/kenkyu\\_kaihatsu/index.html](https://nrifd.fdma.go.jp/public_info/library/kenkyu_kaihatsu/index.html))



[動画ページの二次元バーコード]

### 1 救急車・指揮車用パンク対応タイヤの紹介(消防研究センター：実演)

パンクしても時速40kmで少なくとも50km走行可能なことを実験で確認した「救急車・指揮車用パンク対応タイヤ」を紹介しました。



写真1 救急車・指揮車用パンク対応タイヤ

### 2 小規模爆発(消防研究センター：実演)

小型の密閉容器内に可燃性気体を注入し、容器内を可燃性予混合気で満たした後、可燃性予混合気に着火することにより、火炎の伝ばする様子を示す実験を行いました。



写真2 小規模爆発実験

### 3 高発泡装置を用いた泡消火実験 (消防研究センター：実演)

泡消火による消火原理の説明や、泡が流動展開していく様子を実演し、泡消火が様々な火災形態への対応が可能であることを紹介しました。



写真3 高発泡装置を用いた泡消火実験

### 5 原因調査室の業務の紹介 (消防研究センター：展示)

第1鑑識室のX線CTシステム、デジタルマイクロスコープ等の調査機材を展示し、原因調査室の調査業務、研修業務、支援業務を紹介しました。



写真5 原因調査室の業務の紹介（鑑識室）

### 4 AIを活用した救急隊運用最適化に関する 研究開発（消防研究センター：実演）

AIを活用した救急隊の効率的な運用手法として、毎日の救急隊の効率的な運用方法を検討する手法。将来(数年先等)の救急需要を予測して、必要な救急隊数及び配置を検討する手法を紹介しました。



写真4 AIを活用した救急隊運用最適化に関する研究開発

### 6 消防大学校の教育訓練資機材 (消防大学校：展示)

消防大学校における教育訓練で使用している消防車両等の展示を行いました。



写真6 消防大学校の教育訓練資機材

## 7 住宅用消火器の消火実演 (日本消防検定協会：実演)

住宅用消火器による天ぷら油火災の消火実演を行いました。



写真7 住宅用消火器の消火実演

## 8 避難所HUG (消防防災科学センター：実演)

災害時の避難所で起こる様々な出来事にご対応していくかを疑似体験できる避難所HUG（ハグ）の風水害版について、実演を交えて紹介しました。



写真8 避難所HUG

## 9 オンライン開催画面

オンライン開催については、消防研究センターホームページに次のような画面を設けて実施しました。



来年度も科学技術週間に併せて一般公開を開催する予定ですので、開催の詳細については消防研究センターのホームページ (<https://nrifd.fdma.go.jp/index.html>) をご確認ください。

### 問い合わせ先

消防庁消防研究センター  
TEL: 0422-44-8331 (代表)